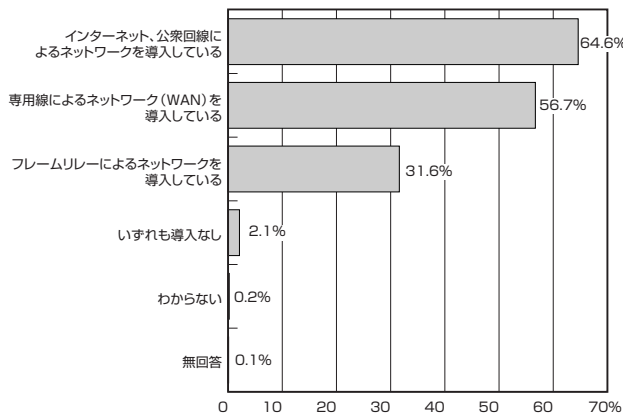


第4章 企業

ネットワーク構築状況/利用歴

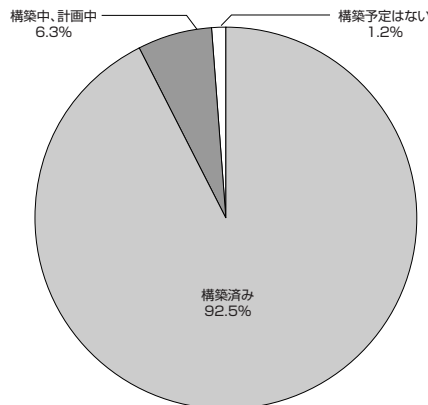
社内LAN構築済み9割

資料1-4-1 ネットワーク導入状況 N=1,721



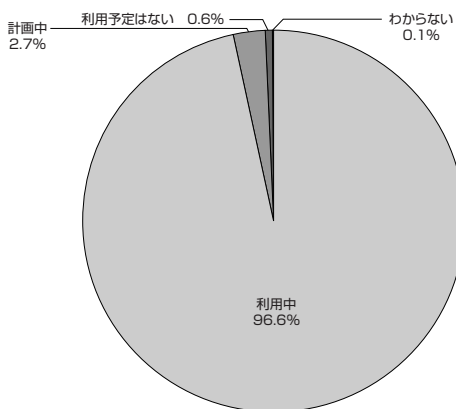
インターネット白書2001 ©インプレス, Access Media International,2001

資料1-4-2 社内のネットワーク(LAN)構築の有無 N=1,721



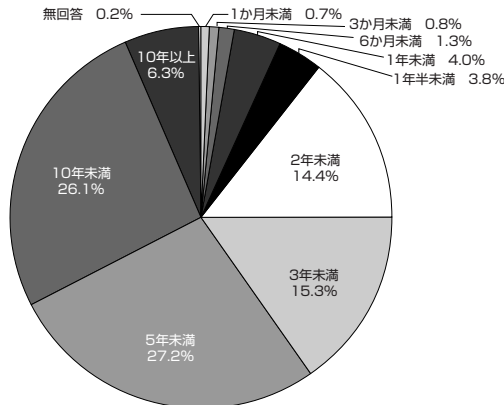
インターネット白書2001 ©インプレス, Access Media International,2001

資料1-4-3 インターネット技術の利用有無 N=1,721



インターネット白書2001 ©インプレス, Access Media International,2001

資料1-4-4 インターネット利用歴 N=1,662



インターネット白書2001 ©インプレス, Access Media International,2001

解説

今年の「企業のインターネット利用実態調査」では5600のコンピュータ利用事業所に対して質問票を郵送し、1721サンプルの有効回答を得ている。

■ ネットワーク構築状況/利用歴

有効回答企業のネットワーク構築状況は64.6%の企業が「インターネット、公衆回線によるネットワークを導入している」という結果であった。これを従業員規模別にみると、50人未満の事業所で「インターネット、公衆回線によるネットワークを導入している」比率が7割以上と高い。また「専用線によるネットワークを

導入している」は従業員500人以上の企業では5割を超えており、5000人以上の企業ではその比率が9割を超える。この状況は昨年とほぼ同傾向である。

今年の調査で社内LANを「構築済み」の企業は回答企業全体の92.5%を占める。昨年の88.4%と比べるとさらに増加し、コピー機など同様に、すでに企業内での一般的な「設備」となっていることがわかる。従業員規模別でも50人以上の企業では95%を超える高い利用率となっている。

インターネット技術の利用有無についても昨年の92.8%から今年はさらに増加

し、96.6%に達した。コンピュータ導入企業という母集団に対する調査結果ではあるが、インターネットの企業における導入が着実に100%に近づいており、今後は従業員数や機器当たりの浸透度が導入状況を比較する指標となるであろう。

インターネットの利用歴について、昨年までは「5年以上」を最も利用歴の長い分類としていたが、インターネットの誕生からの時間経過をかんがみ、今年からは、「5年以上10年未満」と「10年以上」に分割した。今年の調査では「3年以上5年未満」と「5年以上10年未満」を合わせ



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp